ひととひと　ふれあい、つながる

いっぷく

2019 9 Vol. 255
ＪＡ京都市
事業だより

特集 都市農業の理解を幅広い世代に ～京ベジ FESTA2019 開催決定～

JA 京都市

京都マラソン 2020
JAグループ京都は、京都マラソン2020を応援しています。

目　次　CONTENTS

特集　都市農業の理解を幅広い世代に ～京ベジFESTA2019開催決定～　2
通常総代会　4
地区別総代懇談会Q&A　9
京のかわら版　11
はっぴぃすまいる　15
お知らせ　16
人事異動・昇格のお知らせ　共済部からのお知らせ　17
営農経済部からのお知らせ　行事予定　18
ちょっといっぷく　クロスワードパズル／今月の星占い　19
京のこんだて　オリジナル 和風枝豆　裏表紙

特集

都市農業の理解を幅広い世代に ～京ベジFESTA2019開催決定～

当JAが毎年夏に開催してきた感謝祭が今年は秋へと引越しすることとなりました。夏の開催は子供たちが夏休みに入るタイミングとみずみずしい夏野菜が出揃う条件のもと開催してきました。しかし、猛暑が続く時期とあり、昨年は最高気温が38℃を超える猛暑日での開催となり、熱中症を訴える参加者が多く見られました。そんな中、昨年11月のJA東京あおばが開催された農業祭の視察が今年の秋開催へと導く大きな要因となりました。1年のなかで最も快適な晩秋での開催であり、秋野菜が収穫される季節です。また、しのぎやすい季節のもとで、運営もはかどり、スムーズに作業が進められる光景を目の当たりにしました。

この背景を踏まえ、今回は名称を新たに「京ベジFESTA2019～秋の大感謝祭～」とし11月16日(土)に開催することになりました。今年は新たに梅小路公園の東側の芝生エリアに加えて、新たに開業したJR梅小路京都西駅エリアの大きく2つに分けたエリアで、市民の皆さまが都市農業に対する理解を一層深めるためのイベントを繰り広げます。また、幅広い年齢層の方々にも楽しんでいただけるように秋の夜長を意識した2部構成となりました。

第1部

●京やさいマルシェ

第1部は「京やさいマルシェ」と題して地元野菜の販売と前日に平安神宮で行われる品評会の受賞野菜の展示と即売を行います。支部組織、青壮年部、女性部、フレッシュミズのご協力のもと「ほんまもん京野菜ブランド」の発信を進め、「都市農業の理解」、「食の安全安心」「食による健康」のPRを目指します。

●京グルメ

「京グルメ」もパワーアップして開催することが決定。野菜販売のほかに、「京の肉」や「京の地酒」などを味わえるブースを設置し、秋の味覚を堪能していただきます。また、観光客にも野菜を購入していただけるように宅配サービスも設け、「食と農」から観光都市京都の魅力発信につなげていきます。

●表紙の紹介

『コスモス』

秋桜でコスモスと呼ばれるようになったのは山口百恵さんの代表曲「秋桜」でコスモスと歌ったことがそのはじまりと言われています。

コスモスの花色は様々で、ピンク、白、赤が一般的に知られています。他にも黄色や赤茶色などの珍しい花色も品種改良によって生まれています。暑さも落ち着いてきた頃、天気のよい休日にコスモス畑へお出かけしてみてはいかがでしょうか。

撮影場所：右京区嵯峨

▲今年は夏から秋へお引越し
大人から子どもまで楽しめるイベントとなっています。（昨年の様子）

●JAキッズファームパークなど食農教育イベント

アンパンマンショーや食農教育イベントなどお子様にも楽しんでもらえるイベントを開催して会場全体を盛り上げてまいります。

第2部

●京ベジ音楽祭2019

第2部は、京都にゆかりのあるアーティスト等によるスペシャルステージ「京ベジ音楽祭2019」を開催します。当日は特設ステージから奏でられる上質なメロディーが歴史都市京都の街を包み込み、来場者に特別なひと時を提供することとなるでしょう。

最後に

今回の京ベジFESTAは「都市農業の理解を幅広い世代に」という新たなコンセプトのもと進められます。そこで、今回はこれまでJAにとって距離が遠い、10代から20代の世代にも楽しんでいただけるように構成しています。イベントを通じて、都市環境のなかで農業が連綿と営まれている姿を多様な世代の方々に理解していただき、今後の当JAとの良好な関係作りにつなげていきたいと考えております。

詳しい情報については今後ホームページやLINE@などを通じて明らかにしていきます。LINE@のお友達登録をされていない方はいっぷく9月号19ページをご覧いただくか、LINE友だち検索から「@ja_kyotoshi」と検索していただき、是非ともご登録下さい。

2019.11.16(土)

第1部 京ベジFESTA2019 10:00~16:00
第2部 京ベジ音楽祭2019 17:00~19:00

入場無料 **梅小路公園**
京都府京都市下京区観喜寺町56-3
芝生エリア
梅小路京都西駅前エリア

LINE@
ID名:
@ja_kyotoshi

第1部 京ベジ FESTA2019 10:00～16:00

●京やさいマルシェ
「ほんまもん京野菜」の即売コーナーや京野菜の展示を行います。

●京グルメ
「京の肉」や「京の地酒」など京のグルメが味わえるブースが初登場！選りすぐりの逸品の数々を是非ご堪能あれ！

△今回は秋の新鮮な京野菜が勢揃い（昨年の即売会の様子）

●JAキッズファームパーク
お子様向けの食農教育イベントを多数用意

第2部 JA京都市 Presents 京ベジ音楽祭 2019 初開催!!

京都にゆかりのあるアーティストによるスペシャルステージ！
歴史と伝統が息づく街京都に上質なメロディーをお届けします♪

出演アーティスト

つじあやの

川嶋あい

DUFF(ダフ)

観覧無料 時間 17:00~19:00 場所 メインステージ

△戸田秀司組合長による開会の挨拶

2019年度 通常総代会を開催

（6月27日 於:KBSホール）

自主・自立の組織として 創造的自己改革の実践に向けて

～「歴史ある地域社会との豊かな共生を」を命題に5つの改革に着手～

6月27日、KBSホールに於いて、2019年度通常総代会を開催しました。昨年度の事業報告及び本年度の事業計画・第三次3ヶ年計画等を上程し、全議案慎重な審議のうえ、すべての議案が可決承認されました。

△総代の挙手で議案の可否を問いました

組合長あいさつ

昨年度を振り返ってみますと、農協改革が断行されＪＡは大きな転換期を迎えました。当組合が今後も着実に成長していくためには、自主・自立の組織として創造的自己改革を推し進めていくことだと考えています。

「歴史ある地域社会との豊かな共生を」を命題に、五つの改革に基づいて、農業者の所得増大・農業生産の拡大・地域の活性化を最重点に取り組んでいますが、その大きな柱となっているのが、ＪＡ京都市版ＧＡＰ制度でございます。この制度をご理解いただき、ひとりでも多くの組合員に認証基準を満たしていただくことが、農産物の安全性とブランド力を一層高め、「ほんまもん京野菜」の認知度向上に繋がるものと確信します。

今年3月に開催した臨時総代会で、「組合員の呼称統一にかかる定款の一部変更」が賛成多数で可決承認されました。ＪＡは総合事業の強みを活かし、信

用・共済事業で利益を上げ、その利益を営農経済事業の運営費にあてています。ここで皆様にご理解いただきたいのはＪＡ本来の使命である営農活動を充実させていくためには、信用・共済事業での利益の確保が必要であること、また、利益を確保するためには、准組合員の事業利用制限は当組合の命運を分ける大変重要な問題であることを、先ずはご理解いただきたいと存じます。政府の実態調査の猶予期間は５年あるものの、資格調査に相当の歳月を要することや、組合の存続を賭ける重要な方策であること、そして、一刻でも早く准組合員の農業関与度を調査したいとの思いから、書面議決での開催に至った経緯を、この場で改めてご報告申し上げます。

２０１８年度の事業決算概要は次のとおり。

貯金

セット推進や非対面チャネル等の活用により、利用者のメイン化および定着化に取り組みました。貯金では、夏・冬に定期貯金キャンペーンを展開し、積極的な資金調達を行った結果、年度末合計残高は２，４５０億円となり72億円の純増となりました。

また、年金受給口座については、受給者特典を拡充しつつ、純増数を意識した口座獲得に取り組みました。将来に亘り安定的な事業基盤や資金調達を達成すべく取り組んだ結果１，３７５件の受給口座を獲得し２２４件の純増となりました。

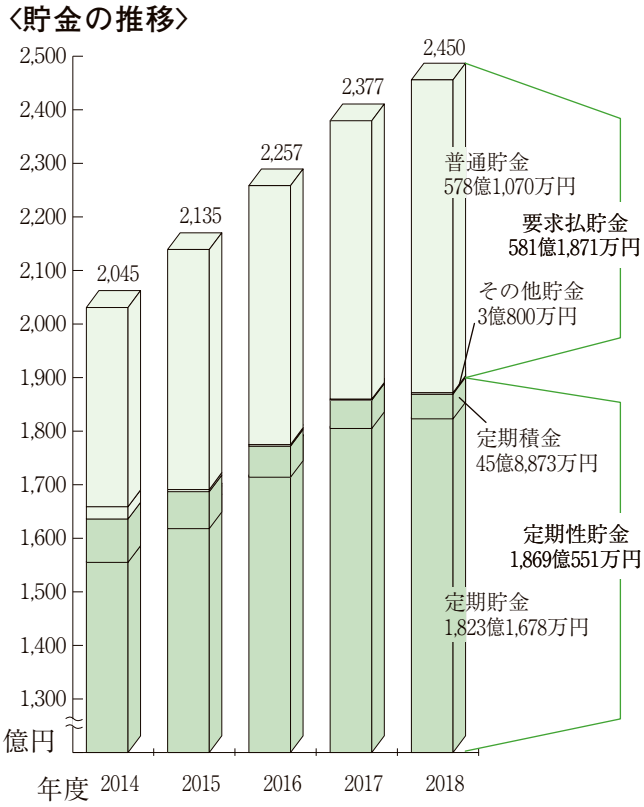
貸出金

マイナス金利の影響を受け、他金融機関との低金利競争が続く中、組合員および地域利用者の満足度向上を目指すため、各種ローンの推進を図りました。

農業関連資金では、農業メインバンク機能の強化を図るとともに、農業経営資金の拡大に積極的に取り組んだほか、災害により農業経営の再建を図るため、金利軽減にも取り組みました。

また、住宅ローンでは、昨年度を大幅に上回る獲得件数となり１２２件、小口ローンでは、１１９件の実績を挙げることができました。

賃貸事業用施設建築資金においては、顧客ニーズに対して、きめ細かな対応を心掛けました。その結果、年度末合計残高は５９７億円となり、40億２千万円の純増となりました。



▷議長を務められた山口徹総代（松尾支部）

共済

2018年度は、多くの自然災害に見舞われた年でした。特に台風21号は、京都市管内でも甚大な被害をもたらしましたが、約3，000件の組合員・利用者から建物更生共済のご請求をいただき、多くの共済金でお役に立つことができました。

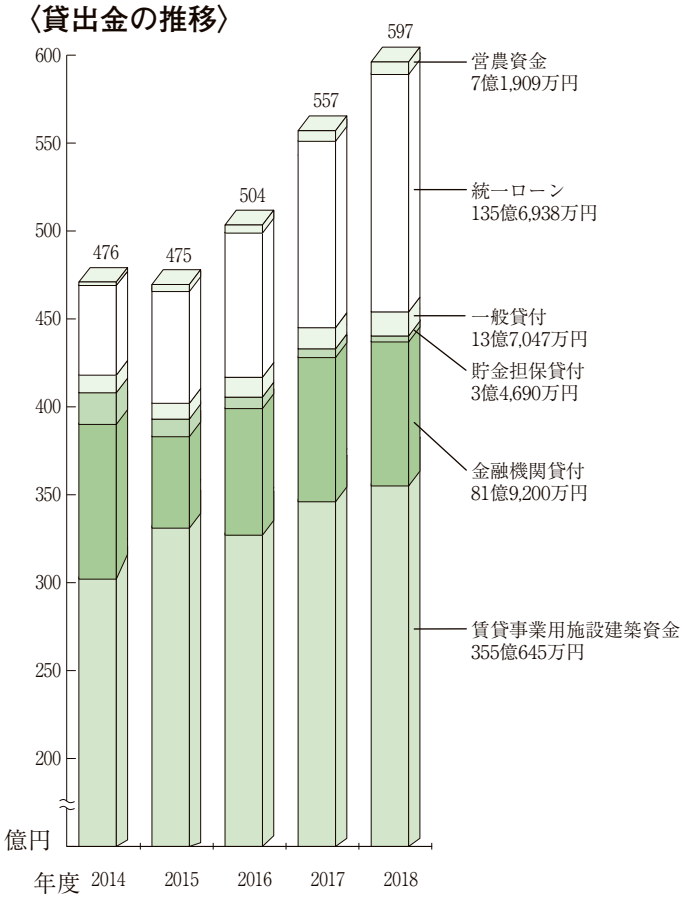
また、普及面でも自然災害時に充分な保障の確保を目的に、2017年度より仕組みが見直された建物更生共済への切替えを中心とした提案を行い、保障内容の充実に努めました。

その他の共済においても、一時払終身共済や新仕組みである生活障害共済の推進に積極的に取り組むことにより、例年通り早期に目標を達成することができました。

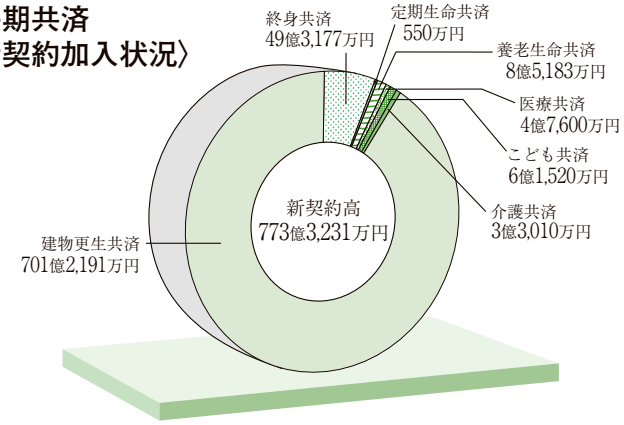
保全面では、2017年度より可能となった自動車共済の電話継続によるペーパーレス手続きで利用者の負担軽減と事務の迅速化が図れました。

また、共済契約の払込方法について口座振替扱いが浸透している中、さらなるキャッシュレス（初回時口座振替）の定着化を図るなど事業運営体制の強化に努めました。

〈貸出金の推移〉



〈長期共済
新契約加入状況〉

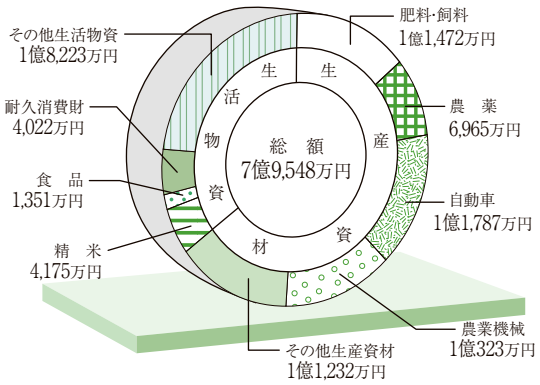


購買

農業者の所得増大に向け、全農や取引メーカー等と連携し、大量仕入れによる低コスト肥料の供給や鶏糞の一括購入、大容量除草剤のキャンペーンを実施しました。時期にあわせた農機具展示会（本店1回、農機具センター2回）を開催し、アグリDREAM2018では、AI（人工知能）搭載の最新農機による実演も行いました。

また、農機修理サービス部門においても、農機整備士の配置を細分化させ緊急時対応の向上に努めました。さらに、火災報知器特別キャンペーンと全農指定業者との連携による白蟻防除キャンペーンを実施し、防災や白蟻被害対策に適した住環境の提案を行いました。

〈購買品取扱実績〉



営農指導

地域農業の活性化と管内のブランド力ある伝統京野菜の生産性向上、また地域の実態に応じた持続可能な農業を振興し、その実現に努めるため、担い手や後継者の育成支援、講習会の開催などの営農指導活動の展開を図りました。

○TAC・営農指導員が各支部担い手農家の圃場に出向き、育成支援を行いました。また、各種品評会、立毛共進会の審査補助や採種圃場の検見に参加し、営農指導員の技能向上を図りました。

○台風21号、24号、西日本豪雨による圃場被害にあわれた農家組合員に対して災害復旧対策として一連の支援活動に取り組みました。

○廃棄ビニール、廃棄農薬回収事業を行い、農業廃棄物の適正な処理に努めました。

○農作業中の農機具による事故を防止するため、農機具安全講習会をブロックごとに開催し、安全な作業環境の確保に努めました。

○JA京都市版GAP制度を創設し、農業生産活動の持続性を確保するため、農産物の安全性並びに品質向上・環境保全・労働安全・経営改善に関する点検項目を定め、その実践指導、認証点検などにより、制度の普及に取り組みました。

出資金

組合員の増員は、JAの組織基盤を強固にするとともに、経営に対する信認でもあります。JAを取り巻く環境がますます厳しくなる中で、これまでと変わらない歩みを続けるためには、拡大した組合員組織の強化が必要です。そのためにはJAの役割や必要性を理解いただくため、当JAが主催する各イベントへの参加募集を通じ、利用者に信頼される事業利用を促してまいりました。

2018年度は、地域密着型金融機関として、年2回の定期貯金キャンペーンに加え、夏の大感謝祭や親子まつり、クリーンウオークなど、組合員・地域住民とのふれあい活動を展開した結果、組合員数では317名の増員、出資金では1億6百万円の増加となりました。

組合員の加入においては、准組合員の増員が一旦落ち着きを見せたものの増加傾向にあります。このような状況のなかで准組合員に対して、ホームページの充実を図るとともに、SNSへの投稿や、全支店での「支店だより」の発行等、情報発信を通じて関係強化を図りました。

財務状況

各事業で堅実な実績伸張に努めた結果、経常利益は昨年度より2億56百万円増益し、6億25百万円となりました。信用事業では有価証券運用益や貯金利息の圧縮に加え、1億72百万円もの貸倒引当金戻入益を計上したため、昨年度より3億49百万円増益となりました。共済事業では14百万円増益、購買事業で8百万円増益となりました。また、70周年記念式典費用など突発的な費用が嵩んだため、事業管理費は1億14百万円増加しました。

この結果、当期剰余金は4億30百万円となり、目的積立金取崩額や土地再評価差額金取崩益を加算し、10億円近い当期未処分剰余金を計上することができました。

当JAの安全性・健全性を示す自己資本比率は、分母に当たるリスクアセット資産が増加したことと、算出基準にあたるバーゼルⅢへの段階的対応により、昨年度比率から1・41ポイント減少し、19・55%となりました。

また、固定資産においては、支店改修工事や業務機器の導入を図りましたが、農機具センターで43百万円の減損損失を計上したため、33百万円減少となりました。これにより、固定比率は29ポイント上昇し940%となりました。昨年度同様、設備投資への資金構成度の安全性は高水準を維持しています。

財務の状況

貸借対照表（2019年3月31日現在）

（単位：千円）

資産の部 科目	金額	負債及び純資産の部 科目	金額
1. 信用事業資産	265,318,281	1. 信用事業負債	255,183,321
(1) 現金	997,723	(1) 貯金	245,024,216
(2) 預金	196,676,408	(2) 借入金	8,700,000
(3) 有価証券	7,767,480	(3) その他の信用事業負債	1,459,104
(4) 貸出金	59,704,291	2. 共済事業負債	896,729
(5) その他の信用事業資産	179,779	3. 経済事業負債	38,027
(6) 貸倒引当金	△ 7,400	4. 雑負債	361,300
2. 共済事業資産	23,598	5. 諸引当金	982,503
3. 経済事業資産	92,614	6. 再評価に係る繰延税金負債	472,515
4. 雑資産	397,444	**負債の部合計**	**257,934,395**
5. 固定資産	3,268,096	1. 組合員資本	15,273,769
(1) 有形固定資産	3,265,127	(1) 出資金	4,491,689
建物	2,028,435	(2) 利益剰余金	10,848,099
機械装置	36,164	利益準備金	3,910,000
土地	2,341,309	その他利益剰余金	6,938,099
その他の有形固定資産	301,328	特別積立金等	5,972,680
減価償却累計額	△ 1,442,110	当期未処分剰余金	965,419
(2) 無形固定資産	2,970	（うち当期剰余金）	(430,286)
6. 外部出資	5,576,758	(3) 処分未済持分	△ 66,018
7. 繰延税金資産	45,168	2. 評価・換算差額等	1,513,795
資産の部合計	**274,721,960**	**純資産の部合計**	**16,787,565**
		負債及び純資産の部合計	**274,721,960**

※記載金額は、表示単位未満を四捨五入して表示しており、そのため表中の合計が一致しないことがあります。

損益計算書（2018年4月1日から2019年3月31日まで）

（単位：千円）

科目	金額	科目	金額
1. 事業総利益	2,764,918	指導事業収入	3,831
信用事業収益	1,921,938	指導事業支出	18,752
信用事業費用	142,813	指導事業収支差額	△ 14,921
信用事業総利益	1,779,125	2. 事業管理費	2,258,302
共済事業収益	870,389	事業利益	506,616
共済事業費用	31,433	3. 事業外収益	118,517
共済事業総利益	838,957	4. 事業外費用	0
購買事業収益	803,495	経常利益	625,132
購買事業費用	719,010	5. 特別利益	930
購買事業総利益	84,485	6. 特別損失	47,448
販売事業収益	1,074	税引前当期利益	578,615
販売事業費用	226	法人税・住民税及び事業税	153,909
販売事業総利益	849	法人税等調整額	△ 5,580
利用事業収益	4,490	法人税等合計	148,328
利用事業費用	76	**当期剰余金**	**430,286**
利用事業総利益	4,414	当期首繰越剰余金	357,235
宅地等供給事業収益	75,423	電算対策特別積立金取崩額	74,000
宅地等供給事業費用	3,413	施設整備充実積立金取崩額	33,600
宅地等供給事業総利益	72,010	協同組合運動推進資金積立金取崩額	17,000
		周年記念事業積立金取崩額	30,000
		再評価差額金取崩額	23,298
		当期未処分剰余金	**965,419**

※記載金額は、表示単位未満を四捨五入して表示しており、そのため表中の合計が一致しないことがあります。

剰余金処分

（単位：円）

科目	金額
1. 当期未処分剰余金	**965,419,006**
2. 剰余金処分額	**599,746,293**
(1) 利益準備金	90,000,000
(2) 任意積立金	410,000,000
電算対策特別積立金	100,000,000
施設整備充実積立金	150,000,000
協同組合運動推進資金積立金	50,000,000
経営安定化積立金	60,000,000
自己改革推進積立金	50,000,000
(3) 出資配当金	34,468,444
(4) 事業分量配当金	65,277,849
購買事業分量配当金	30,534,240
定期事業分量配当金	34,743,609
3. 次期繰越剰余金	**365,672,713**

（注）1. 出資配当は年0.8％の割合です。
2. 事業の利用分量に対する配当の基準は次の通りです。
購買品供給高のうち、肥料・農薬・農業機械・施設資材に対し、8.8％の割合です。
定期貯金平均残高100万円以上に対し、0.03％の割合です。
3. 自己改革推進積立金は「農業者の所得向上」「農業生産の拡大の実現」「地域の活性化」の実現を目的とする自己改革を実践するために必要な資金として、50百万円を目標に積み立てます。なお、自己改革の実践に要する資金に限定し取り崩すこととします。
4. 次期繰越剰余金には、営農指導、教育、生活文化改善の事業の費用に充てるための繰越額23,500千円が含まれています。

地区別総代懇談会 Q&A

2019年度通常総代会に先立ち、6月18日から20日にかけて、地区別総代懇談会を開催し、3日間で延べ72名が出席されました。総代懇談会でいただいた主な意見・質問及び回答は以下の通りです。

Q 減収減益の事業計画について説明願いたい

A 計画の収益減について今までキャンペーンで貯金量を増大していた経緯にあるが、今後段階的に縮小され、金利付与がかなり制約されることもあり、貯金量増量の計画を想定しにくい実情にある。このように経営環境が変わる中での計画である。今後、信用事業の財源をこれまでと同様に営農事業へ回すことは難しいが、JAの機能発揮は営農経済事業がしっかり展開できていることである。それを実践するためにも、厳しい情勢下であるが、組合員との関係性を深め、地域に根ざした信頼される運営が必要である。その諸策として安心・安全な農と食の展開など農産物を通した地域貢献に努めていく。

Q 地区別総代懇談会の出席者数がかなり少ないが、どう受け止められているか。

A 本来、組合員は協同組合活動の参画者であり、その意識から組合の運営など関心を持ってほしいところである。総代は議決権が与えられており、非常に重要な役割を担っている。組合を支える当事者というより、組合事業の一利用者としての意識が強いのが現況であると思う。

近況として、農協改革で問われている農業所得の増大という課題もあり、それこそ農家組合員の生産者としての意見も汲み取る必要がある。そこで思索していることがあり、若手担い手は今後の農業後継者であり、協同組合運動を支えていく重要な人材である。幸いにも管内には若手担い手が増えつつあり、今後から意見収集する場を設けたいと考えている。このように地区別総代懇談会以外にも組合と意見交換できる機会を増やし、特に農家組合員との距離感を縮めたいと思っている。

Q 生産緑地制度の2022年問題について伺う。京都市内1081万坪のうち、納税猶予を受けているのは6割であり、残りの4割のうちの5%でも売りに出た場合、その対象は9万坪もある。こうした大量の土地売り出しによる価格下落があった場合、組合としてどのように考えているか。

A 取り扱い対象の殆どは農地であり、それを積極的に売買してもらいたい気持ちはない。資産活用の一環で手助けできたらと思っている。業者であれば営利が伴い組合員の利益が損ねられる場合も考えられる。JAがこのような対応ができることは組合員に安心していただけると思う。これまで培ったノウハウを活かしながら、また複雑な案件もJAならば顧問弁護士や税理士などを交え対応できる。当JAとしては今回宅建免許を取得して事業展開していくことは、確かに手数料収入を得られるが、それ以上に大きな責任を抱えることにもなる。組合員の資産管理を担う役割を十分認識し、その責務を果たしていきたい。

Q 会計監査人の選任について。みのり監査法人は設立が浅く、実績もわからない。みのり監査法人を選任された理由は。

A 中央会や他のJAと研究会で説明を受け、1年ほどかけて検討してきた。当初、個人事務所、大規模監査法人、中小監査法人とJA専門に設立されたみのり監査法人の4つを検討してきた。個人、中小については安定的な監査が期待できるかどうか疑問であり、ふさわしい法人が見つからなかった。

そこで、4大監査法人とみのり監査法人で検討を行い、4大監査法人に監査を受任できるか問い合わせをしたところ、JA業務への認識が無く、当組織への監査実績が無いことから対応できないとの回答、もしくは、今すぐにはできないとの回答があった。みのり監査法人は、JAグループの監査経験者が多く在籍し、大規模監査法人からの出向者も在籍し、専門性が発揮できる監査法人と判断したことでみのり監査法人を選任した。

もう一つの理由として、監査費用も考慮したうえでの判断であった。JAの監査に対し実績はないが、これからの課題と認識し、まず1年間注視してやっていきたい。

Q JA京都市版GAPの認定者を今後増やしていくための方策について教えてほしい。

A 中央市場やじねんと市場にJA京都市版GAPのPRを行っている。すぐに定着するものではないので徐々に浸透を図っていきたい。認定されている方は、シールを貼って出荷や販売をされている。大丸マルシェにおいても認証シールに関心を持たれ、その趣旨を理解されて購入されている。浸透には時間がかかるが手を緩めずに取り組んでいきたい。

ホームページやLINEを使った広報活動の強化にも取り組んでいる。

Q 軒先販売をしているが、品質の良いもの・食の安全・減農薬・生産工程に配意したJA京都市版GAPの取り組みを消費者に知ってもらいたい。そのために、この店で買ったら安心だと思われるような対応をお願いしたい。

A ホームページに直売所マップがある。そこに、JA京都市版GAP認証のところは、区別して表示できるようにする。（6／21HP修正済）来年2月14日に東京銀座三越で当JAの農産物のPRおよび販売をする。JAが独自のGAPをしているところが全国を見ても今のところ当JAしかない。そういうことを含めてPR活動に力を入れていく。

Q 京都市版GAPに申請されている20代から30代くらいの若い方は何人くらいいるのか加入率を教えてほしい。最初に若い人に向けて会議をしていないのか疑問。今後、若者の加入をどうやって増やしていくか、今後の安全・安心な農業振興を展開する上で、当JAの考えを伺いたい。

A 現在35～45才の方は約15％いらっしゃる。

支部によっては説明会をもう一度開いてほしいと要望を出されているところもある。改めて支部ごとに加入推奨に取り組みたい。

これまで当JAから発信する一方で、特に若手の農家がどういう意見・要望をされているのかを聞く場があまりなかった。これからは青壮年部とは別に、青年農業者（40才以下の方）にご意見を直接伺い、営農に対する意欲や具体的な農業支援について、対策を講じていきたい。管内の農業を元気づけるためにも担い手の方と意見交換を重ね、今後とも営農経済事業にしっかりと力を入れていきたい。

Q 自己改革推進積立金規程50百万円のうち、どういう計画でどのように使い還元していくか。また、野菜の買取計画70万円に対し収益35千円は農家にとって大変良いことだと思うが、どういう計画で農家・組合が発展していくか説明してほしい。

A 50百万円を単年度で使い切る訳ではない。具体的な使い道は未定であり、状況に応じて変わっていく。有意義な活用方法を見いだしていきたい。

環境が整わないと買取販売の拡大は難しい。組合員の意識改革もしなければいけない。将来的な目標として主要な事業となるよう取り組んでいくので理解を願いたい。

Q 農繁期は休日でも作業をするが、JAは休業日である。休日営業を行うなど柔軟に対応してほしい。

A 毎年、当番制のシフトで農繁期営業をしている。期間や時間など詳細については広報誌でも告知している。今後、周知できるように対応していく。

Q 中堅職員の離職が多いが、どう受け止めているのか。

A 当JAだけではなく、離職率は年々高まっている。働く上で大切な報酬も決して低く抑えていない。賞与も年3回ある。それだけで食い止められるとは思っていない。今の若い人は報酬に左右され辞めていくが、特別に支給するわけにもいかない。それ以外の理由として人間関係等の場合、配置換え等提示しているが退職を踏みとどまるケースは少ない。今後、給与体系等を見直すことも検討している。

Q 出資金運動を強化して経営基盤と、組織の強化をお願いしたい。

A 当JAの出資額の上限は150万円となっており、出資金が増えると事業展開として大きいウェイトをしめる剰余金処分案を分配しなければならない。それを維持するのは事業があってのことであるので、事業拡大を優先に取り組んでいく。

京のかわら版

JA京都市管内の出来事やイベントなどをお知らせいたします。

上賀茂

伝統野菜の販路拡大を図る

6月21日より上賀茂支部の生産者で組織される「上賀茂特産野菜研究会」は京都の老舗漬物屋「株式会社川勝總本家」へ加工用の「京賀茂なす」の出荷を7月下旬まで行われました。

賀茂なすは上賀茂が誇る伝統京野菜ですが、大きさや形が流通に適さないものは規格外品として全体の1割から2割が処分され、生産者たちの大きな悩みの種となっていました。そこで、賀茂なす生産者の販路増大と所得向上を目指して当JAとJA全農京都の後押しのもと販路拡大が実現することとなりました。

▲販路拡大を目指してがっちりと握手（八隅会長㊧と川勝専務㊨）

▲当JAとJA全農京都も同行し規格外品の賀茂なすを確認

当日は川勝總本家の川勝隆義専務が出荷場に直接出向いて賀茂なすの形や大きさなどを手に取って確かめられました。

同会八隅真人会長は「これまで処分していた賀茂なすがこのようなかたちで市場に送り出せることは非常にありがたい。この地域で作る賀茂なすは自信をもって世に送り出せる逸品なので、より多くの人に食してもらいたい」と話されました。今後賀茂なすは漬物として商品化する方向で進められ、9月から10月にかけて販売される見通しです。

自己改革レポート

京野菜栽培の思いを学生に

6月11日、渡邉幸浩青壮年部長は京都先端科学大学バイオ環境学部の学生に向けて特別講義を行われました。「私の農業経営について」と題したテーマのもと学生に対し、渡邉青壮年部長自身が時代に即した独自の工夫によって編み出した「振り売り」についてや農業にかける思いを熱弁されました。都市型農業の最前線で京野菜の栽培に取り組む渡邉青壮年部長の思いを熱心にメモに残す学生の姿が多く見られました。

この取り組みは当JAが昨年9月に同大学（当時は京都学園大学）と地域農業振興に向けた連携協定の一環事業。学生たちへ生産者とつながる場を提供して次世代の育成と農業の発展を進めることが目的です。

▲学生へ野菜栽培にかける熱い思いを伝授

今後連携協定は双方の友好な関係のもと進められ、当JAはインターンシップで学生を管内生産者のもとへ受け入れて農業経営などの学ぶ場を提供します。同大学からは当JAにない最先端の栽培技術やノウハウといった学術面でのサポートを受け、品種改良や新たな栽培技術の開発に着手し、生産者の所得増大につなげていきます。

▲実際の振り売り販売の様子

営農経済部

定期貯金キャンペーン来店者に向け出張マルシェ開く

～本店にて来店者にほんまもん京野菜をPR～

7月31日、出張マルシェを本店玄関ロビーで開きました。この取り組みは、今年3月から毎週水曜日に大丸京都店の屋外特設ブースで開催しているものを、定期貯金キャンペーンの最終日に、来店者が相当数見込まれることから本店で開催したものです。

並べられた野菜は、管内農家組合員が生産された「ほんまもん京野菜」。また、今年から始めたJA京都市版GAP認証を受けた京野菜も多く並べられ、制度の宣伝を兼ねた販売を行いました。

キャンペーン来店者の多くは、手続きを待っている間に同ブースを訪れ、賀茂なすや万願寺とうがらしなど、夏場の瑞々しい旬野菜の見事さに感心され、購入されました。

購入客からは「また開催してほしい」との声が多数あがる大盛況となり、午後2時半に開催し、1時間程で完売となりました。接客を担当したTAC担当の藤井拓也主任は「お客様に大変喜んでいただき、京野菜のPRもできた。中でもJA京都市版GAPに興味を示される方が多く、安全・安心の取り組みに共感されていた」と話しました。これからも時と場所を変え、当JAマルシェの展開を「ほんまもん京野菜」の宣伝と地域の方々との関わりの深化を目的に展開していきます。

▲「ほんまもん京野菜」をロビー特設ブースで販売

太秦

学生を招いて現場実習

～太秦支部水本さん学生を指導～

6月17日から28日にかけて、太秦支部組合員の水本桂太さんは京都府立農業大学校の学生へ農業指導を行われました。この取り組みは、農業現場での作業経験が少ない学生が実際の圃場で農作業体験を通じて幅広い農業知識と生産技術を深めることが狙いです。水本さんは同大学校1回生の青山実樹さんを受け入れて10日間にわたって指導を行われました。

研修ではトマト・ナス・キュウリなどの夏野菜を中心に栽培に関する生産手順やハウス施設ならではの栽培方法を学ばれました。研修終了後に青山さんは「水本さんの栽培技術をはじめ、新しい知識を得ることができ、貴重な体験でした」と充実した表情で振り返られました。

また、水本さんは「後継者が少なくなるなか、女性の後継者は貴重な存在で都市農業の希望でもある。今後も農業技術の伝承を大切にしたい」と話されました。

▲水本さんは少量多品種の野菜を栽培する太秦支部の生産者

▲水本さんの指導を受けた青山さん（手前）

営農経済部

自慢の夏野菜が勢揃い ～1027点が出品～

7月8日、夏季農産物品評会を北野天満宮で行い、管内生産者の自慢の夏野菜1027点が出品され、単品や詰め合わせで出来栄えを競いました。

府や市の農業関係者14名による審査が行われ、京都府知事賞にはジャガイモを出品された大宮支部の樋口豪宏さん、京都市長賞はキュウリを出品された同支部の水澤隆司さんが受賞されました。その後、特別賞受賞の野菜19点は北野天満宮に奉納されました。審査長を務めた矢澤進京都大学名誉教授からは「今年は全体的によくできている。鷹峯とうがらし、賀茂なすも良いものがあった」と講評していただきました。

なお、会場には今年11月下旬に東京都練馬区で開催される「世界都市農業サミット」のPRにのぼりが立てられました。

▲審査長を務められた矢澤進名誉教授

▶都市農業の魅力を世界に発信する世界都市農業サミットののぼり

▲特別賞に輝いた農産物

大宮

トラック市で地産地消

6月25日、大宮支部は同支店駐車場でトラック市を行われました。この取り組みは、地元産の新鮮な野菜を地域住民で消費する地産地消を目的に昨年から始められました。即売会にはキュウリ・トマト・ナスなど9名の生産者によって栽培された野菜が出品されました。

地元住民からは新鮮な野菜を求める声が多く、来場者は「地元の新鮮な野菜が生産者の顔が見えるなかで買えてとても安心。定期的に開催していただきたい」と期待を寄せられました。

▲軽トラックで地元産の野菜を販売

山科南部・北部

山科区農業祭

6月28日、山科区の農産物を広くアピールする山科区農業祭が山科区総合庁舎前広場で行われました。山科南部支部から209点・山科北部支部から61点の合計270点の農産物が出品されました。また、農業祭ではトマト・ジャガイモ・タマネギ・ナス等、新鮮野菜の詰め放題も行われました。

表彰式では京都府知事賞は宇野保雄さん、京都市長賞は渡邉幸浩さんがそれぞれ受賞されました。その他にも17名の生産者が特別賞を受賞されました。

▲山科産の野菜の出来栄えを確認

営農経済部

婚活イベント「都婚」開催

6月23日、当JA婚活イベント「都婚」を滋賀農業公園ブルーメの丘で開き、13名が参加されました。

都婚は農家の後継者不足の解消を進め、青壮年部と女性部活動の発展を目的に行われ、今年で4回目を迎えました。参加者は自己PRタイムの後、BBQで親睦を深め、さらに芝すべりなどのレクリエーションを通じて交流を深められました。

現在会員は70名となり、増加傾向で今後も新会員の募集を進めてまいります。

▲フリータイムで仲良く大道芸を観賞する参加者

吉祥院

本格的なそば打ちに挑戦

7月8日、吉祥院支部女性部は料理教室の一環として、そば打ち体験を開き、5名が参加され、熟練の職人による本格的なそば打ちの指導を受けられました。

部員たちはそば粉とつなぎを配合した後、打つ・伸ばす・切るという流れで作業を進められました。なかでも味が決まる重要なポイントとなる打つ工程には特に丁寧に取り組まれました。できあがったそばにはそれぞれ太さや長さが異なるものが出揃い、お互いのそばを見比べて楽しまれました。

▲味を左右する打つ工程に集中!!

久我

長野旅行で親睦を深める

7月15日から久我支部は長野県へ1泊2日の支部旅行へ行かれ、部員17名が参加されました。部員たちは、ちこり村、旧開智学校、松本城、大王わさび農園などを観光され、親睦を深められました。

旧開智学校では、明治9年に完成した擬洋風建築の建物を見学され、国宝の松本城では城内を見学されながら、歴史を堪能されました。

参加者は「2日間を有意義に楽しむことが出来た。これからも支部の行事に参加していきたい」と話されました。

▲国宝松本城をバックに記念撮影

上鳥羽

読み聞かせを食育に活用

6月26日、上鳥羽支部中村いつ子女性部長は京都市立上鳥羽小学校を訪問され、ボランティアとして自身で選ばれた本を同小学1・2年生へ読み聞かせを行われました。

また、同支部は家の光協会発行の「ちゃぐりん」に掲載された記事を活用した食農教育も進めており、この日は牛乳にまつわるクイズを出題して児童たちを楽しませました。この読み聞かせは今後3回予定しており、読み聞かせを通じて食農教育を積極的に進めていきます。

▲読み聞かせを行う中村いつ子女性部長

はっぴいすまいる

わが家のアイドルご紹介

桂支部

西川　歌音（かのん）ちゃん（4才5ヶ月）

かわいく見せる歌音ちゃんのお気に入りのポーズ

春から年中さんになり、毎日楽しく幼稚園に通っています。歌うこととダンスが大好きで、祖父母の家に行った時は、おばあちゃんとピアノを弾きながらニコニコ歌っています。ひいおばあちゃんとも仲が良く、２人でシルバニアファミリーで遊んでいます。ひいおばあちゃんの世話が好きで、お薬の用意をしたり、歩く時は歩幅も合わせてくれます。将来は人の役に立ってくれるようなお仕事に就いて欲しいです。

ちょっぴり緊張?!
ドキドキの撮影会

お父さん		智　也 さん
お母さん		奈　央 さん
祖父	林	繁　治 さん
祖母	林	三千代 さん
曾祖母	林	千代子 さん

自慢のペットご紹介

夢生（むう）くんのご主人

樋口　昌孝さん（大宮支部）

ちくわと畑が大好きな、ちょっと太めの男子。収穫期、日中で仕事が終わらず夜中に畑に行くときも、軽トラのエンジンをかけると必ず運転席に飛び乗ってついてきてくれる、“夜なべ仕事”のかわいい相方です。

犬種　柴犬

JA京都市 企画旅行

ご一緒にいい旅しませんか？

新幹線「のぞみ」往復グリーン車利用!

皇室ゆかりの地も巡る

㊗令和 新しい時代の始まりに旅する ～江戸から明治・大正・昭和をめぐるヒストリー～

磯部温泉と日光東照宮・鬼怒川温泉 3日間

日光東照宮・陽明門
44年振りに大修理を終えた世界遺産

迎賓館赤坂離宮
建築・装飾技術の枠を集めて造りあげた、世界各国からの賓客を迎える施設。2009年国宝に指定。

1日目のご宿泊先

群馬県磯部温泉 雀のお宿 磯部館

木々の温もりを感じる純和風の佇まい。清流のせせらぎと竹林の香りに包まれる静寂の宿。

2日目のご宿泊先

栃木県鬼怒川温泉 鬼怒川グランドホテル夢の季

鬼怒川の高台に位置し、日本庭園を囲むくつろぎの宿。鬼怒川の名湯を9つの湯殿で満喫できます。

日次	行程／宿泊地 ◎入場観光 ○下車観光 △車窓観光	食事
1	JR京都駅（8:00～9:00発） ═ 品川駅（10:15～11:15着）（のぞみ（グリーン車）） ═ 伊豆榮上野本店（老舗うなぎ店にて江戸前うな重の昼食） ═ （首都高） ═ ○小江戸川越 大正浪漫夢通り（散策） ═ （高速道路） ═ 磯部温泉（16:30着）	朝:× 昼:○ 夕:○
2	磯部温泉（9:00発） ═ ◎富岡製糸場（世界遺産（明治の産業遺産）を見学） ═ （高速道路） ═ ○道の駅ららん藤岡（見学・買物） ═ （高速道路） ═ 日光金谷ホテル（明治6年創業のクラシックホテルにて洋食の昼食） ═ ◎日光東照宮（新しくなった陽明門や社寺見学） ═ 鬼怒川温泉（16:30着）	朝:○ 昼:○ 夕:○
3	鬼怒川温泉（9:00発） ═ ○日光ろばたづけ 鬼怒川店（買物） ═ （高速道路） ═ 浅草:葵丸進（天ぷらの昼食） ═ △皇居車窓 ═ ◎迎賓館赤坂離宮（日本の粋を集めた華麗なる美の殿堂）（注） ═ 東京駅（16:00～17:00発） ═ 京都駅（18:15～19:15着）（のぞみ（グリーン車））	朝:○ 昼:○ 夕:×

═:バス ═:JR

※天候・交通事情等により発着時間が変更となる場合があります。（注）国公賓の接遇その他迎賓館の運営上の都合により公開が中止となる場合がございます。

バラエティーに富んだ昼食にこだわりました

1日目 江戸時代創業の老舗うなぎ割烹
「伊豆榮」でのうなぎ

2日目 明治6年創業のクラシックホテル
「日光金谷ホテル」での西洋料理

3日目 昭和21年創業。東京浅草名物の天ぷら
「葵丸進」での天ぷらの逸品

※写真は全てイメージ

旅行代金	129,000円（大人お1人様）（2名1室利用以上）
旅行実施日	2020年 2月18日(火)～20日(木)
申込金	30,000円（旅行代金に充当します）
募集人員	最少催行人員24名様
食事条件	朝2回・昼3回・夕食2回
添乗員	同行し旅程管理を行います。
利用人会社	国際興業観光バス・東京ヤサカ観光バス

旅のポイント

◎平成の大修理を終え、生まれ変わった国宝「陽明門」を始めとする世界遺産日光東照宮をゆっくり見学。

◎贅を尽くした日本の洋館の最高峰 迎賓館赤坂離宮の宮殿内を見学。

◎2泊とも温泉旅館で、浴衣でおくつろぎいただき、夕食はご宴会場でごゆっくり。朝食もお食事処で和定食をご用意。

◎往復とも「のぞみ」グリーン車利用。ひとクラス上の移動で快適。

◎昼食はゆったりできる施設で、こだわりのお食事をご用意。

ずっと思い出に残る旅をぜひこの機会に…
皆様のご参加を心よりお待ちしております。

詳しくは、専用チラシをご用意しております。

人事異動・昇格のお知らせ （敬称略・順序不同）（　）は前役職

2019年8月1日付

参与及び総務部部長 事務取扱兼務
（参与）
沼田 敏宏

醍醐支店長
（総務部部長）
竹中　勝

業務推進部部次長及び指導課長取扱事務兼務
（業務推進部指導課課長）
今井 康光

川岡支店長（部次長待遇）
（川岡支店長）
安田 重隆

嵯峨野支店長（部次長待遇）
（嵯峨野支店長）
福本 幸生

信用部営業課課長
（上賀茂支店長）
北村 隆幸

上賀茂支店長
（営農経済部営農経済課課長）
井上　寿

営農経済部営農経済課課長及びくらしの活動推進課課長兼務
（営農経済部くらしの活動推進課課長）
山田 愛子

山科北部支店次長
（川岡支店次長）
清水　剛

営農経済部営農経済課係長及び西院支部勤務
（総務部総務課西京極支部係長）
横尾 節子

総務部総務課西京極支部主任
（営農経済部営農経済課主任及び西院支部勤務）
上原 里抄

信用部営業課書記
（大枝支店書記）
永島 美優

定年退職

醍醐支店長（2019年7月31日付）
定年再雇用 信用部営業課嘱託
今井 雅樹

2019年8月に発令した人事異動をお知らせいたします。
今後とも一層のご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。
（総務部総務課）

共済部からのお知らせ

日頃の感謝と事業の更なる拡大へ ～JA京都市共済推進大会開催～

7月5日、ロームシアター京都で共済推進大会を開催しました。長期共済契約者への感謝と共済事業の更なる拡大を目的に今年で45回目を迎え、約 3,500 名が来場されました。

第一部の式典で戸田秀司組合長は挨拶の中で「昨年度は地震や台風が直撃し、改めて自然災害への備えの重要性を実感した。当JAは、『ひと・いえ・くるまの総合保障』の提供を通じて、ご自身や家族全員の暮らしをサポートし、豊かな生活づくりにお役立ちできるよう努めていく」と話されました。その後は、前年度のJA共済高額加入者の代表者へ感謝状を贈呈しました。

▲観客と握手をする神野美伽さん

▲第一部の式典の様子

第二部の神野美伽さんのコンサートでは会場内は大いに盛り上がりました。「男船」「浮雲ふたり」をはじめ多くの楽曲が披露されたほか、コンサートの途中には神野さんが客席へ下りて観客と握手をするなど触れ合う場面もありました。

営農経済部からのお知らせ

昨年の台風では多くの農産物やハウスなどの施設が被害にあいました。
台風による農産物や農業用施設の被害は気象情報により事前の対策が可能です。
気象情報に注意し、事前に対策等を行い、被害を最小限にとどめましょう。

営農経済課　TAC
藤井　拓也

水稲の事前対策

1. 強風が予想される場合、倒伏、乾燥防止のため、深水管理に努める。
2. 大雨による冠水が予想される場合は、排水路の点検、補修、ゴミの除去を行う。

野菜の事前対策

1. ハウス栽培では、破損個所は修繕し、風が吹き込まないように閉めきる。
2. 露地栽培では、支柱等を点検して補強し、しっかり固定する。
3. 圃(ほ)場内の冠水を防ぐため、排水溝を排水路まで確実につなぎ、雨水が圃場外へ排水されるようにする。

果樹の事前対策

1. 冠水、滞水の恐れのあるほ場では、排水路を点検、補修、整備する。
2. 傾斜地等では、樹冠下の土壌流亡を防ぐため、敷ワラや敷草を行う。
3. 果樹棚や雨よけハウスは控え線などにより補強を行う。

その他、園芸ハウスの台風対策については、2019年7月号のいっぷくにも掲載しています。
また、京都府のホームページにも**「台風接近に伴う被害対策について」、「園芸ハウス台風対策マニュアル」**等の被害対策も掲載されていますのでそちらもご確認ください。

9・10月の行事予定

9月

4日(水)	法律個人相談会【本店】
13日(金)	巡回健診【修学院】
18日(水)	女性部親睦グラウンドゴルフ大会【グリーンランドみずほ】
19日(木)	資産管理移動相談会【山科北部】
26日(木)	資産管理移動相談会【上鳥羽】
28日(土)	体育祭【横大路グラウンド】

10月

2日(水)	生産緑地貸借セミナー
9日(水)	巡回健診【大宮】
16日(水)	巡回健診【上賀茂】
16日(水)	資産管理移動相談会【嵯峨野】
17日(木)	法律個人相談会【本店】
18日(金)	巡回健診【大枝】
21日(月)	巡回健診【山科南部】
21~23日(月)~(水)	JA京都府ママさん大学【伊豆・堂ヶ島・湯河原方面】
24日(木)	グラウンドゴルフ府下大会【サンガタウン】
24日(木)	資産管理移動相談会【久我】

農機具センターの休日対応のお知らせ

下記の期間は、休まず営業致します。

[営業日]
9月14日(土)から10月14日(月)
[営業時間]
平日:午前9時～午後5時　土日:午前9時～午後4時
[TEL]
(075)391−4193
修理サービスカー運行中!

※予定ですので、日程が変更となる場合があります

ちょっと いっぷく

クロスワードパズル

二重マスの文字を A～E の順に並べてできる言葉は何でしょうか？

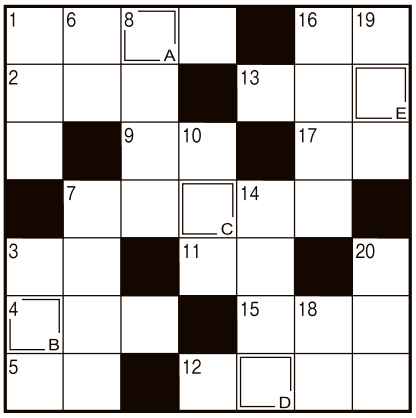
出題○ニコリ

タテのカギ

① テレビのリモコンにはたくさん付いています
③ なだらかな――が続く丘陵地
⑥ 合唱部が練習するもの
⑦ 耳かきと共に行方不明になりやすいそうです
⑧ 今からこれじゃ、――が心配だなあ
⑩ 仲人から紹介を受けて、伴侶候補と会います
⑭ 宴会でグラスをみんなで掲げて……
⑯ 相撲の勝敗を記録した――表
⑱ ゴホゴホゴホ
⑲ 価格が高くなること
⑳ 煮物などに使う、アルコールを含む調味料

ヨコのカギ

① 9月1日は――の日。非常持ち出し袋や避難経路を確認しましょう
② 高知の名物料理、カツオの――
③ 皮膚の表面にある細かな模様。――の細かい肌
④ 食器を拭く布です
⑤ いがに守られた実がなります
⑦ 晴れた十五夜にはとても明るい
⑨ 矢を射る道具
⑪ 陽の反対語
⑫ 国や地方自治体に納めます
⑬ 首都はモスクワ。大きな国です
⑮ 肉料理に添えたり、刻んでスープに浮かべたりする香草
⑯ 傘にも凧（たこ）にもあります
⑰ バラの茎にある突起



【解き方】
普通のクロスワードの要領で全部を解いてください。次にA→Eの二重ワクの文字を順に並べると、一つの言葉ができます。
それが答えです。

『いっぷく』7月号の答え
［ブルーベリー］

正解者の中から抽選で10名の方に図書カードをプレゼント!

プレゼントの応募方法

（1） 郵便はがきに、【○クイズの答え○住所○氏名○年齢○電話番号○ご意見・ご感想】をお書きください。

（2） 〒615-0046 京都市右京区西院西溝崎町24
JA京都市　本店総務部「いっぷく」係まで、お送りください。
※応募いただきました皆さまの個人情報は、当選者のプレゼント発送のために利用させていただきます。

おたより募集中！

おたよりや、イラスト（絵手紙）を募集中です。
クイズと同じあて先まで、お送りください。
お待ちしています。

締め切りは 9月末日

解答は「いっぷく」11月号

SNSでJA京都市とつながろう!!

QRコードを読み取ってお友達になっておくれやす♪

LINE@
ID名:
@ja_kyotoshi

instagram
アカウント名:
ja_kyotoshi

facebook
アカウント名:
JA京都市

今月の星占い ★モナ・カサンドラ★

牡羊座 3/21～4/19
すべき作業を黙々とこなすだけで、変化に乏しい日々になりがち。興味を引かれるジャンルに意識を向けてみて

牡牛座 4/20～5/20
旅行や飲み会に出掛けると自分の新たな可能性に気付けるかも。努力の成果が出やすく、頑張ってみる価値あり

双子座 5/21～6/21
一時の感情で行動すると失敗しやすい月。冷静さを大切に。キッチンやお風呂など、水回りの掃除で運気が回復

蟹座 6/22～7/22
交友関係が一気に広がる気配。趣味や習い事の集まりには意欲的に参加して。人気店で逸品に遭遇することも

獅子座 7/23～8/22
自分のペースでじっくり物事に取り組めそう。中途半端なまま放置していることは、この機会に片付けましょう

乙女座 8/23～9/22
ビッグチャンスが舞い込む予感。気になることがあれば、迷わず飛び込んでみて。未体験のことをするのも大吉

天秤座 9/23～10/23
やりたいことを強引に推し進めやすい期間。成功の鍵は情報収集と周囲の協力。人の意見には謙虚に耳を傾けて

蠍座 10/24～11/22
ちょっとした変化が幸運の呼び水に。生活スタイルを変えたり、新しい趣味を持ってみて。科学的ジャンルも◎

射手座 11/23～12/21
不本意な出来事が多くなるかも。でも、イライラせず、できることに集中するのが得策。自然の中で気分転換を

山羊座 12/22～1/19
行動範囲がグンと広がる気配。以前から興味を持っていたことを追求してみて。海外に関する事柄にチャンスが

水瓶座 1/20～2/18
内にこもりやすい。自分の時間を持ちつつ、人との交流も楽しめば、意外な発見が。音楽鑑賞でストレス発散を

魚座 2/19～3/20
物事を両極端に捉え、失敗する暗示。もう少し気楽に構えること。運命的な出会いに恵まれる可能性があります

京のこんだて

オリジナル和風枝豆

ひと味違った枝豆料理をご賞味あれ！

ビールの相棒の枝豆。今回は複数の調味料を混ぜて作った特製ダレを枝豆にまぶしてみました。なお、使用した枝豆は８月13日に放送された「マツコの知らない世界」で絶賛された久我支部の辻勝次さんの「辻音の黒枝豆」を使用させていただきました。

季節の野菜－枝豆－

枝豆は、大豆の未成熟な豆のことを指し、完熟すると「大豆」になります。

さまざまな品種があり、現在では枝豆専用の品種が400品種以上あるといわれています。大豆の起源については、日本においては遺跡からの出土によって、縄文中期から後期にかけて存在が確認されていますが、どのように日本列島にもたらされたのか等、正確にわかっておらず、未だルーツが不明な作物です。

●材料

枝豆……300g

Ⓐ
- 水……大さじ５
- だしの素……小さじ１
- 酒……大さじ１
- 砂糖……小さじ１
- しょうゆ……大さじ１
- みりん……小さじ１
- 七味……お好みで

●作り方

①枝豆をお好みのかたさにゆでる。

②Ⓐをフライパンに入れて水分をとばし、カラメル状になるまで煮詰める。

③七味を入れ、ゆでた枝豆にかければ完成！

農機具オペレーター募集のご案内

JA京都市は**農機具オペレーター**（トラクター等）を募集しております。

余った時間を有効活用してみませんか。（パートタイマー）

募集要項

募集人員：若干名

勤務条件：要相談

詳しい内容等につきましては、
下記までお問い合わせください

京都市農業協同組合 総務部 総務課

〒615-0046 京都市右京区西院西溝崎町24番地

TEL 075-314-0898　FAX 075-313-2643

いっぷく　－Vol.255－ 2019.9

2019年9月1日発行

編集・発行／JA京都市（京都市農業協同組合）総務部総務課

〒615-0046 京都市右京区西院西溝崎町24　TEL（075）314-0898

https://ja-kyotocity.or.jp